

2015年度前期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2015年度前期			2014年度前期		
	教員人数	実施人数	実施講義数	教員人数	実施人数	実施講義数
専任	50 (51)	49	123	49 (51)	47	77
非常勤	68 (72)	64	88	61 (72)	51	63
総合計	118 (123)	113	211	110 (123)	98	140

注) 教員人数欄は、アンケートを実施すべき科目担当者数、() 内は実人数

【属性】（設問 1～設問 2）

アンケートに答えた学生（のべ回答者）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比				学年別人数・構成比		
学部	学科	人数	構成比	学年	人数	構成比
経済学部	経済学科	1049名	17.2%	1年次	1841名	30.1%
	公共政策学科	653名	10.7%	2年次	1958名	32.1%
経営学部	スポーツ経営学科	3208名	52.6%	3年次	1596名	26.1%
	情報メディア学科	1142名	18.7%	4年次	540名	8.9%
科目履修生・交換留学生・聴講生		45名	0.7%	5年以上	105名	1.7%
計		6097名	100.0%	科目等履修生他	44名	0.7%

延べ回答者数／延べ受講者数＝回答率

6,097／9,370＝65.1%（前回：60.7%）

今年度より、1人1講義以上を選択実施する方式を改め、原則全講義（ただし、専任教員は、演習、語学、体育実技を除く）実施することとしたため、前年度に比べ71科目もの大幅実施増となった。これにより、学生が選択できる授業について全て評価結果を開示することとなり、授業選択の参考として利用できるようになった。

設問 3. 【板書】

○板書については、「分かりやすい」と回答した割合が39.1%で、ほぼ前回どおりであった。「分かりにくい」と答えた9.3%の者は、板書について「字が小さい」、「字が汚い、丁寧でない」、「読みづらい」、「書く量が多い」、「黒板を消すタイミングが早くノートが取れない」との指摘を具体的に記述している。

また、板書ではないが、パワーポイントデータのプロジェクター投影について「字が小さい」、「背景で見にくい」、「スライドの切り替えが速い」などの指摘もあった。

設問 4. 【話し方】

○教員の話し方についても、「分かりやすい」が 56.8%で、ほぼ前回どおりであった。「わかりにくい」と答えた 10.8%の具体的理由としては、「マイクの音量が適切でない（大きすぎる、小さすぎる）」、「聞きとりにくい」、「しゃべるのが早い」といった記述があったが、ほとんどが毎回特定の科目・担当者に関するものである。「静かなので聞きやすい」といった記述もあり、教室の静かさとの関係も大きいようである。

設問 5. 【授業の進め方】

○学生が理解できているかを確認する工夫として、「学生との問答がある」(27.8%)、「前回の振り返り」(24.6%)、「小テストの実施」(18.8%)、「質問に対する適切な回答」(10.7%)などほぼ前回どおりの割合で実施されている実態を確認できた。逆に「ほとんど一方的だった」と答えた割合は 17.0%となったが、特にスポーツ経営学科で 20.2%と高くなっている。

設問 6. 【授業環境】

○教室内の授業環境については、全体の約 3分の2 (68.7%) が「常に静穏」であると回答している。「私語や携帯電話の使用が常にある」との回答が 4.3%であったが、記述部分には、「私語や途中退席は集中できないので注意して欲しい」、「私語や携帯使用の学生には厳格な処分をして欲しい」など教員の対応を求める声が多くあった。最後の設問「良かったと思われる点」でも、「私語、携帯電話の使用に対する取締りが厳しく良かった」などと「静かな授業」を評価する回答が非常に多くあることから、真面目に授業に取り組みたいと思う学生のためにも静穏な環境を整える必要がある。

設問 7. 【授業の予習・復習】

○今回から、予・復習をどの程度行っているのか大よその時間数で回答させることとしたが、1時間以上と回答した者はわずか 8.7%であった。「ほとんどしない」が 64.6%であり、相変わらず授業の予習・復習をして理解を深める習慣が備わっていない者が多いといえる。学科別には、スポーツ経営学科は予習・復習をしていない割合が 71.3%であったのに対し、情報メディア学科では 52.4%、経済学科 61.3%、公共政策学科 61.7%と、学科による差異がみられた。

中教審の「学士課程教育の構築に向けて」(答申)に対応し、シラバスの項目として時間外学習の内容や目安時間を掲載しているが、自主的な学習が行われていない現状から、さらに具体的な課題を出す等の工夫が必要である。

設問 8. 【授業の難易度】

○授業の難易度は、「理解できる」(36.6%)、「十分に理解できる」(30.7%)をあわせた 67.3%が授業を理解できておりほぼ前回どおりであるが、「やや難解」(26.1%)、「難解すぎて理解できない」(6.6%)など大よそ教室内の 3割の者が理解できずに授業を受けているといえるため、担当者は、授業の進行にあたって学生の理解度を確認する何らかの工夫が必要であろう。

設問 9. 【授業満足度】

○授業の満足度は、「満足も不満もない」が 23.8%で、「まあまあ満足」(31.8%)、「非常に満足」(35.2%)をあわせた「概ね満足」者が約 3 人に 2 人、「やや不満」(5.1%)、「非常に不満」(3.7%)を合わせた「不満」者が 8.8%の結果となった。

学科別には、経済学科と情報メディア学科で「概ね満足者」が 72%と大よそ 4 人に 3 人が満足感を得ているのに対し、スポーツ経営学科では 62.9%にとどまっているため、満足感を決める要因が何であるかを探る必要がある。

設問 10. 【良かった点、改善してほしい点 (抜粋)】

<良かった点>

- ・座席指定なので静かで、とても集中しやすい環境だった
- ・提出レポートを評価して返してくれるので励みになる
- ・小テストや指名して答えさせるなどやりがいがある
- ・レジュメが穴埋め式になっていて理解が深まった
- ・体験談や具体例で説明があり理解しやすかった
- ・毎回、小テストを行うので復習にもなった
- ・グループで話し合うところが、とても良かった
- ・他の人の意見と自分を比較することができた
- ・DVD などの映像を使った授業が楽しく学べた
- ・質問に分かり易く答えてくれた

<改善してほしい点>

- ・先生が遅刻をしてくる 時間どおり始めて欲しい
- ・バカにしたような注意をされる
- ・説教や授業に関係の無い話ばかり
- ・情報の基礎が無い者には理解できない
- ・スクリーンが反射して見づらい
- ・遅刻者や途中退室者を厳しく注意してほしい
- ・プリントの枚数が多い
- ・授業が一方的でわかりにくい
- ・テキストを読んでいるだけでつまらない
- ・学生に答えさせるなど理解度を確認して欲しい
- ・授業の進行が早すぎる ゆっくり進めて欲しい

以 上